

2022年6月8日
FutureOne株式会社

基幹業務パッケージ「InfiniOne®」シリーズのバージョン 1.5 をリリース

～画面デザインを刷新し、「Azure Database for PostgreSQL」および「Amazon RDS for PostgreSQL」に標準対応～

FutureOne株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐藤 隆元、以下フューチャーワン)は、中堅・中小企業向けに展開している基幹業務パッケージ「InfiniOne®」シリーズのバージョン 1.5 を、2022年5月31日にリリースしたことをお知らせします。

■バージョン 1.5 のポイント

1. 「Azure Database for PostgreSQL」および「Amazon RDS for PostgreSQL」に標準対応

「Microsoft Azure」および「Amazon Web Service」のクラウド環境にて「InfiniOne®」シリーズをサービス提供する際、これまではデータベースは製品の購入が標準であったのに対し、本リリースにより従量課金型である「Azure Database for PostgreSQL」および「Amazon RDS for PostgreSQL」も選択肢に加わることで、データベース製品に関する新規導入時のインシャルコスト削減を希望するお客様のニーズに沿った提案が可能となりました。また、クラウドサービスによるフルマネージド型のデータベースであるため、データベースサーバーの構築や維持が軽減され、サーバースペックの増加時にもライセンスの購入の必要性はなく、柔軟なデータベースの性能拡張が可能となりました。



2.画面デザインの刷新によるユーザビリティの向上

昨今のお客様からのユーザー体験向上に対するニーズを踏まえ、これまでの操作性は活かしつつ、より直観的に利用できるユーザーインターフェースへの刷新を行いました。業務画面を一目で情報把握しやすいフラットデザインに刷新するとともに、多用する機能のショートカットキー表示や、検索ボックスによるメニュー検索など、画面操作のユーザビリティを向上しました。



■今後の展望

フューチャーワンは、これまで日本の中堅・中小企業に向けて45年にわたり基幹業務システム／サービスを提供し、数多くのシステム構築を手掛けてきました。今後もフューチャーグループの技術トレンドを背景に、当社のお客様にとって最適な技術要素を提供していくことで、更なる業務の拡張性やコスト削減などの工夫を生み出し、中堅・中小企業ビジネスのシステムプラットフォームを支援します。

■「InfiniOne®」シリーズについて

「InfiniOne®」シリーズ※1はERP・基幹業務システムを中心としたソリューションブランドとして主に、中堅企業向けの『InfiniOne® ERP』と中堅・中小企業向け基幹業務システム『InfiniOne® Project』、業種特化販売管理システム『InfiniOne® Sales』をラインナップとして揃えています。タイムリーな業績管理やリアルタイムでの経営情報を引き出すための経営情報基盤として、専門性の高いノウハウを形にした業種別テンプレートを備えており、様々な業種業態の企業1,200社以上に採用されています。

※1 <https://www.future-one.co.jp/products/>

※ FutureOne 株式会社は、フューチャーグループの企業です。

※ フューチャー株式会社（東証プライム：4722）は持株会社です。（http://www.future.co.jp/company_profile/future_group/）

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ニュースリリースに記載された製品/サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。

■ FutureOne株式会社

代表取締役社長：佐藤 隆元

設立：2002年10月1日

社員数：263名(2022年2月1日現在)

本社：東京都品川区大崎2-9-3

URL：<https://www.future-one.co.jp/>

事業内容：基幹業務システム「InfiniOne®」の開発、販売、サポートおよびECサイトの構築、受託開発

■ 報道機関からのお問い合わせ先

FutureOne株式会社 ビジネスプロデュース事業部 マーケティング担当：瀧崎、山本

TEL: 03-5719-6122 FAX: 03-5719-6123 E-Mail: f1-marketing@future-one.co.jp